

【やりとりと判定の実例：A2〇】

T：テスター、S：受験者

はつわれい 発話例	はんてい ごんきよ 判定の根拠
<p>T：どうしましたか。 S：あ、おなかが痛いです。① T：あ、そうですか、いつからですか。 S：あー、昨日、夕べ。② T：あ、そうですか。何を食べましたか。 S：あー、私は、友達、と、一緒にバーベキューを食べます。バーベキューはおいしい。でも、でも、肉は焼け、焼けていないよ。③ T：あー、そうですか。 S：それから、おなかが痛いです。④ T：あ、そうですか。朝ごはんは、食べましたか。 S：んー、朝ごはん、少し食べます。⑤ T：そうですか。あ、今日の夜熱がでるかもしれませんから、明日はゆっくり休んでください。仕事もしないでください。A S：仕事しない。あ、はい、分かりました。⑥ T：はい。じゃあ、薬を出しますね。 S：はい。 T：マスクもしてください。 S：はい、ありがとう。 T：はい。</p>	<p>①～⑤聞かれたことに簡単に答えて必要な情報を伝えられる =タスクが達成できる</p> <p>テストのA「明日は仕事を休むように」という働きかけに対して、⑥は事情説明はしない</p>

このロールプレイは、A2③のロールカードを使っています。

<A2 ロールカード>

あなたは仕事で日本に来て、明日帰国します。急に具合が悪くなったので病院に
 来ました。医者（いしゃ）の質問（しつもん）に答（こた）えてください。

受験者（じゅけんしゃ）は、①～⑤で医者（いしゃ）からの質問（しつもん）には、簡単な言葉（かんたん なことば）を使って、何とか答（こた）えていま
 す。しかし、「明日（あした）はゆっくり休（やす）んでください」というテスターからの働きかけ（はたら）（A）には、受
 験者（けんしゃ）は「あ、はい、わ（わ）かりました」と応（おう）じてやりとりを終（しゅうりょう）了（りょう）しており、「明日（あした）帰（き）国（こく）する」な
 どの事情（じじょうせつめい）説明（せつめい）をしませんでした。

以上（いじょう）のことから、この受験者（じゅけんしゃ）は自分（じぶん）から話（はなし）を進（すす）めることはできないものの基本（きほん）的（てき）な情
 報（ほう）のやりとりが何（なん）とかが出（で）来る、つまり〇のレベ（れい）ル（る）だと判（はん）定（てい）します。